

母よ家庭の太陽たれ



古い時代は過ぎた。大なる世界の胎動の後、新しい大日本は生れたのである。伯國に於ける日本女性も目覺めよおたがいはもつとく勉強しなければならぬ。祖國の新しい女性に負けないように向上努力しなければならぬ。

日本の歴史に残る數々の偉人達に自分のすべてを犠牲にして我兒の出世の爲に盡した偉大な母親達の中に母性愛は崇高な愛情があるだらうか、それは女にあると思ふ。女性にそれではない。人生の同伴となつた我が夫をも母親の愛をもつて懐しめ包む心を向上して貰ひたいのである。賢明で明るい主婦の家庭はいつも明るく、暗い陰鬱な主婦の家庭はいつもこゝろくとして不愉快な空氣を醸し出してゐるのである。あらゆる點から云つても女性は「家庭の太陽である」と云はねばならぬ。

特に家庭に有る婦人の最も大切な事は愛兒の教育問題である。

ある婦人も子供も育ててある家庭を訪問するとそこ

が少しも分らないのでござい
ます。日本人の子供で日本語が分らないんで
それに悪い外人の子に感化してしまひ、親を親とも思はないのです。親孝行は最も私達日本人の美點でござい
ますのにねえ……このまゝで居たら私は子供から捨てられて終つてしまいます。こんな事を考へると、私情はなくて情なくて其の母親は泣いて訴へる考であつた其處で私は全く考へさせられなればならなかつた、だから一體子供をどうさせたかと言ふ事である。其の家庭もブザルに移つても二十年以上を経過して居るにも拘はらず両親は少しも伯語が分らないので伯語を子供が使ひ日本語を話す事が出来なにか、それは家庭教育の缺陷である。父親はどうして家を外に連れて動かし關係上子供は母親によめと勝つてゐるから家庭教育は全責任を持つて母親の手でやらねばならぬ。その云ふ事は今更此處に説く迄もない事である。然し當然書く必要のないやうな事を筆者をして何故事を取らしむるか、それは余

女は男を作る

ハール・バツク



(二月九日フオリヤ・デ・マニヤンより)

あらう、大切に手入れされた木からは良い果實が出るとの諺の様に家庭内の平和な且つ愉快なるふん園氣を味つてゐる男は餘計な努力をすることなく出世しつゝ自分自身並びにも家庭に大なる恩恵をもたらす處の男である

自己の優秀なる才能並びに感情を征服する力により家庭内の心配が生活戦線に於

若しも婦人が眞の家庭的幸福が人生の絶ゆる環境を通じて最も大切な成功への協力者であることを理解するならば家庭内で身勝手な振舞をしたる無暗に云争ふ様な婦人の數は減ること

りにもこうゆう無智な母親が多いからね。『あのね昔、或る所にね、とつても悪い／＼きつねがゐたんだ、さうして云ふ様な工合に、農夫からその母親はエンターゲドを引まながらでも、洗濯をしながらとも、自分の先祖の偉人の話とか数限りなく多い』と云ふ日本人の孝子とか一、二十分でも十分で子供にかんてふくめようように話して聞かすのがよい。雑物語りにても、食事の時にでも、小供を良くする爲にはたまにならぬ努力を續けて行かねばならぬのである。外人の兒供が生れて間もなくパバママと言ふように日本人の子供に決して難事を教へないはずである私の家の子供は學校にやつてありますから家ではそんな必要はないと言ふ人もあるがそれは飛んで大間違である。或る小学校の先生のどうしてもひねくれ直に言ふ事は一人居て素直に言ふ事がかた人をして其の子の家庭調査を行つた所の其の両親の仕事の失敗から毎晩のように父兄は酒を飲み夫婦喧嘩が絶えずといふ事であつた。そうゆう家庭の暗い悪い部分だけが子供に現はれて仕舞つたのである。子供が不良になつて終つたりして、泣いたりわめいたりしても、もうその時は間に合はないのである。子供の情操教育並に修身禮儀作法等々すべてが家庭に於いて實行されなければならぬ。子弟の教育には學校と家庭とは、不可分のなものである。學校に於て先生が幾ら禮儀作法を説いても家に歸つて只今言はないう子供を見て、見かけるがそれである。かう云ふ家庭に自然にかもし出される家庭内の空氣のすがた子供て彼を征服することを許さぬ男があることは事實である。此等の人は彼等の進路を邪魔せんとして家庭的不和に係はらず成功を得る人々である。又この中には結婚による幻滅を仕事に依りながらと努めての毒舌いられたた振舞を受けられ受ける程仕事を精を出して知らず知らずの中に成功する人も多し。

然し斯の様な場合は稀れであつて所謂普通の男は野心一點張りて生活出来るものではなく又學業を調整し逆に成功をもたらす機強大

の上に、非常はれて来るのだから、特に子供を持つ親達の注意すべき事である。其の國の言葉を話すものの其の言葉の意味を知り、其の言葉の中にこもる精神を知る。

文字教育が出来なかつたらまづ言葉より、言葉が出来たらよくなつた文字教育へと移る様に努力する必要がある。何氣なく日常服の話す言葉が子供達に思想を作つて行く事を忘れてはならない。

今より百年前の日本に於ける教育は今のように國民學校やと言ふ物は無く成る相當な家の子供達だけが寺小屋なるものに通つてゐた位のものであつた。それなると大和魂を養成し言葉に持つてゐなかつたか、いやはや、我等ではない彼等は文字教育がなくとも言葉を通じて大和魂を我々に傳へたのである。故に言葉も當然日本語を普通に傳へた。社會と否が應でも使はねばならぬのであるから、はづつて置いて子供は自然に伯祖に上達するのはあらだ。日系ブラッセルとて働かぬはならぬ子供達は勿論ブラジル語の勉強は言ふ迄にも必要であるがそれと同時に、日本人を先祖に待ち日本人の血をどこまでも後世に残して行く彼等と相違なく缺くべからざるものである。しかしそれは家庭數百に完全に行はれるなら必ずしもして成し遂げられるものと云ふ事を斷言して止めるべき哲學的心理を所有してゐるものでない。普通の男は肉体的にも精神的にも好條件にして平和な愉快な家庭内且つ激しい生活環境に於て他の男との長き戦闘により精神上に蒙る傷に對しよく理解し始めて呉れる妻があつて始めて生活することが出来るものである。普通の男は特別にあらしく成功を夢見てゐるわけでもない、又財産を残すことも夢見てゐない。彼は自己の家庭を維持したまま満足感に於ける爲に生きてゐるのである。

夜の海岸

紫色に
と變つ
てゆく
前方は
るかに
みえる
島、山
は、蒼
范とし
て夜の
闇に包
まれる
のを待
つてゐ
るかに
みえる



夕陽
傾きかける夕陽の残照を浴びてきらくと輝く黄金の海
やしの樹の微風にそよぐ海岸にひた／＼とよせては、
返す波を呑んだやうに靜かな息を吐いたやうに靜かな風景だ。
夢ともつかず、現ともつかない。

夕陽

東京から上海に
とんだ北京生ね
の女優日光はス
海映畫界の大ス
ターにぞまゐ
と共に李香蘭の好敵手とな
り歌手としても名を擧げて
ゐるが彼女が映画一本上げ
れば五十萬圓入るといふが
らすばらしい

其の後の李香蘭

婦人欄と
小供欄を
特設

博く投稿歓迎

本紙は愈々週三回發行に躍進するに至りましたを機會に、婦人記者の「私共も大いに奮發して『婦人會』と『小供會』と設けて貰ふことにし、毎週水、曜日發行の第二面を交互に使用し、是れに依りて女性の向上小供の教育に幾分なりと盡したき念願を起しました、どうぞ女性の皆様に於かせられて此の企てに御賛同たまわり、婦人及び小供會は我等のペーヂになりては陸續御投稿の上、女性の向上と小供の教育に裨が上にもお喜し下さんことを切に御願ひ申します。(婦人記者)

美しくまたらわかし人と書く
未亡人の名ぞ悼ましき
うつしよのなみにたゞよふ夫婦鳥
めじりのゆくへいかなるらん
荒海にゆくへまだぬ捨小舟
世の波風よ心してふけ
うつしみのほかなきことはさとりとでも
悲しかるらむ去年と思へば

リス
美
枝

故に私の心から婦人に對する忠告は
 「あなたの夫を幸福にし彼
 の活動能力を成功への可能
 性を増加さしなさい」

御存知でせうか？
 ブラウルでは非常に肝臓病
 が多いのですが、それに

いる特効薬もありません
 ので、ここに、最もよく効
 く薬を御紹介します、朝起
 きのときや新しい玉子二ツ
 に鹽少々を入れそれにリモン
 をしばり込んですつばいか
 げんにして飲みます一ヶ月
 も續けてごらんなさい見違
 えるようになります

キヤ萝卜の茹で方
 キヤ萝卜を茹で、酢味喰な
 ぎにして食べると、青々々
 として美しく茹でるには沸
 騰した湯にリモン少々しば
 り込むと氣持のいいキヤロ
 プ其のまゝの色に茹でたりま

す

オースンピア	館尾	高橋	高直	白水	茂樹
アルタイール	高橋	高直	白水	茂樹	

取次店	パール東洋(田中)	代理店	多和田眞次郎
マウア取次店	パール(新中)	代理店	吉田 耕三
サントス方面	上原 直雄	ジュンデアイ方面	野上 正久
ジュンデアイ線ベードロ・トレ		聖市近郊巡迴中	又井 應行
			聖市を隔つる百五十七基サントス方面
			シムタカタリナ植民地
			田中 亦芳
			代理人
			中川 忠吉
			主任
			モデアナ方面の主任及び代理店左の通り

[illegible]

伯刺西爾時報

各地外交員(二)

聖市々内、中央線ビダダチマ
ヤシ及びサントス・ジュンゴ
マシ、主任 中村 權太
聖市々内取次人 ルアコン
デ・ダ・サルゼン 三四九
西川 智吉
杉山 弘逸
聖市内及ビ郊外 財部 松治
ジュクリー 取次店 志村 勝
ジュクリー(テラ・ブレ
イト)取次店 原田 定
取次店 勝又 孝三
聖市中央メルカ1ド前通
同 良永時計店
セナル・ケイロス街
取次店 前田 商店
ニールス
パール

木綿と絹物が安く買へる
ノロエステ方面在住諸彦へ
弊リンス支店は政府の物價引下げに協力する
爲店を品市の織物業者及裁縫に利用せしめ直接
需票者へ木綿物、絹物を爲業的安價で差上げる
事に致しましたから何卒御来店御利用下さい
リンス支店
カーザ・シツキ
(A. Gradosa)
西、岡、田、滿
ル・ア・オ・ポ・ビ・ツク街三七一
本 店
セダルベツク吳服店
聖市カンタレーラ街三六 電話三〇七〇七六

DEPOSITO DE BANANA

Gen-ei Nakazone

Rua Barão de Duprat, 301 - São Paulo

開業廣告

左記の場所にバナナのデポジットを開店
致し薄利多賣主義で勉強致しますから
どうぞ皆様の御引立あらへん事を御願ひ
いたします

聖市ルーフ・エ・ロン・デ・
住所 ルーフ・アントニオ・
グブラット三〇一
ビエス五
ビラブエノ十三

仲宗根源榮

小波津厚安
宮城太郎
聲 明
今般在伯冲浦救援同盟の救援金募集に關する委員として邦字新聞紙上その他の方法に依り小生の名義を發表致し居り候処小生は事實國會と何等關係之れ無き事を聲明致し大方謬答の御諒解を得度候
一九四七年五月十日
サンパオロ在住
在伯冲繩縣人諸彦各位
新 城 清 助

婦人科
外科手術一般
ドットール・フィアリーヨ
診察所 北ペラナ、ロンドリナ市
住宅 ヴァニア・ビル内

するのとか考へることは、夫がその女となんでなくとも、妻にとつては甚だ氣持よいくないことに相違ないだらうと、考へたので、彼女が山の温泉宿のところを知らせると云ふ手紙で、姓名とその學生の下宿で受取るやうにしたのだ。

（外交員（不動産））

電氣 般

館本縣人 笹本 勇
（五十三歳）
急用有居所至急知らせ
モンテアルト町西角
福田 秀吉

ラヂオの修理
には信用ある富店を
御選び下さい